

大規模地震を想定した対策を

町長 町総合防災訓練において訓練を実施

中丸池の底樋修理を

問 常海沢川と中丸池が土砂で満

砂状態のままだが、豪雨が濁流となり、下流の住宅地に甚大な危害を起すかもしれない。底樋の修理ができれば、土砂堆積を抑え、濁流と土石流の被害を防げるのではないかと追加予算を進めるべきではないか。

町長

関係課で協議した結果、底樋の改修ではなく、新たに整備する方が効率的という対策案も出ており、概算費用の積算に取り組んでいる。農村地域防災減災事業での



石川重二議員

対応を含め、県の指導も受けながら検討を進めていく。

大地震を想定した訓練を

問

長井盆地西縁断層帯があり、大地震により道路は寸断され、橋は落ち、集落すら分断され、避難所にも行けないような事態を想定した訓練は、

町長

断層帯があり、熊本地震のような直下型地震の可能性があるとされている。28年度の総合防災訓練では、大規模地震を想定した訓練を実施した。各自主防災組織で、

まずは地域の実情に合った訓練に取り組んでいた。あく事が必要と考える。

地域内で語り合いを

問

実体験をもとに自主防災組織で訓練し、身構え、体験を語り合い広げていくべきではないか。

町長

災害時は行政機関、防災機関も被災するため、直ちに対処することは極めて困難になると想定している。自助・共助の意識を持って、予防と減災に向けた取り組みを進め、万が一の事態に備えていただきたい。

防災士へ支援を

問

白鷹町には防災士が19人いる。防災士の活動は「学校や市民向けの防災教育指導」「被災地支援活動」「防災活動の研修や訓練の企画」などである。

町長

防災士から相談があれば、どのような形で対応できるか判断しながら、応援させていただく。

防災士は、話し合いの場を設け、互いの力を高めようという意欲がある。防災士に支援すべきでは。



とりあえずは、土のうで対応

いそげ直下型地震の対応を